

※ 2学期

主な取組	具体的な内容	・学年、教科等との関連、外部との連携等 ・成果、課題、今後の取組等
校長講話	人の誕生から幼少期への育ちについての絵本の読み聞かせと話	自らの成長を振り返ったり、お世話になったりすることを考えることで、命の大切さや成長、人とのかかわりについて考える機会となった。(全児童対象)
道徳授業	「どきどきどっきんぐ」 「命の重さはみな同じ」 「おばあちゃんが残したもの」 「バルバオの木」	生きることの喜びや生命を大切にしようとする心情を育てることができた。(道徳1年) 自他の命を尊重する心情が高まった。(道徳6年) 「生きていることの尊さが分かった」「命の大切さを改めて感じた」等の感想が多く見られた。(道徳5年) 生命あるものを大切にしようとする発言が見られた。(4年)
学級活動	「共に生きよう、困ったら相談を」  自分自身を振り返り、2学期の目標を立てる。	「共に生きよう、困ったら相談を」配布し、悩みごとや困ったことがあったら、相談する大切さを学んだ。(高学年) 目標を立て、自分自身を大切にし、自己肯定感を高めた。適切な時期に振り返りを行う。(3年)
生活科授業	「生き物に会いに行こう」 身近な生き物にふれる。	身の回りの生き物にふれることを通して、生き物を大切に育てる心情を高める。(生活1年)
読み聞かせ	「生きる」絵本の読み聞かせ	皆で会えることの幸せについて話を聞き考えた。(学級活動2年)
毎朝の挨拶	玄関、昇降口で出迎え、挨拶や交流をする。	児童の様子や調子を教職員が把握し、共通理解をすることで、児童一人一人を大切に。(全児童対象 校長、専科教員)
避難訓練事後指導	地震災害について考え、命の大切さの理解を深める。	命の大切さを考えることができた児童が多数だったが、ゲームのように命はやり直しができると発言した児童がいた。命への正しい理解ができるように、指導や学習を進めていく。(全児童対象、そよかぜ)